

令和5年度城陽市社会福祉協議会の事業について (重点目標の評価)

本会では「第6期地域福祉活動計画」の基本理念「つながり つなげる 笑顔のまちづくり」に基づき、基本目標及び実施計画の達成に向け、取り組みを進めてきました。各部門別の重点事業について、令和5年度の総括を行いました。

【法人運営部門】

○経営組織のガバナンス強化

適切で効率的な組織運営のため、各種規程の必要な改正を行いました。

社協だよりは全世帯へ同時期配付を継続し、市民参画型のクイズやクロスワードを取り入れながら紙面の充実に努めました。今後もホームページの刷新や各種情報媒体の活用により、社協への理解度を高める取り組みを行います。

○福祉施設や企業・団体との連携強化

企業・団体への法人会費協力依頼は継続し、前年度同水準の協力をいただきました。連携強化につながる具体的提案や情報提供ができていないことが課題です。

○財源確保に向けた取り組み

地域福祉活動の財源基盤となる社協会費は年々減少しています。その中で不足する必要財源に対し各種補助金等の獲得は積極的に行うこととし、府社協補助金を活用し人員体制整備と運営経費確保を行いました。

【地域福祉活動推進部門】

○第6期地域福祉活動計画に基づく事業の推進

第6期目となる（令和5年度から令和10年度までの6か年）計画において、地域福祉活動の基本となる「つながり」の大切さを再認識し、計画の浸透を目指し、役職員への説明や研修、市民への講演などで周知し、「つながり」の重要性を共有しました。

○地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画の進捗状況を確認し、評価、見直しを行い、変化する社会情勢を踏まえた活動の推進を目指し、関係者で委員会を構成し、その中で協議を行いました。

○校区社協活動の強化支援

つながりづくりを大切にしながら、無理なく活動が継続できるよう柔軟な助成支援の方法へ一部見直しました。さらに、活動者の減少により組織運営が難しくなる中、校区社協と市社協の関係性をより明確にし、市社協として責任ある支援を行うための規程づくりを行いました。

また、寺田西校区社協で発覚した不適切な会計処理に対しては、市社協として規程に基づく検査を行い、返還命令も含め対応を行っているところです。

○ボランティア活動の活性化と災害時支援体制の強化

小中学校の福祉体験学習やボランティア講座を継続実施し、活動参加のきっかけづくりを行いました。さらに、ボランティアフェスティバルも4年ぶりに集会形式で開催しました。

災害時支援体制の強化では、本会の災害時対応マニュアルを一部改正するとともに、各種関係機関・団体と協力した訓練を行いました。さらに、広域災害支援として、令和5年台風7号災害に2名、令和6年能登半島地震災害に2名、市町村社協連合会の要請に応じてそれぞれの被災地に派遣しました。

○生活支援体制整備の推進

身近な地域で助けあいや居場所づくりを進めるための生活支援コーディネーターを配置し働きかけを行いました。さらに、日常生活上の困りごとを住民の協力で支える活動として、平成7年から実施してきた住民参加型相互援助サービス事業を全面的に見直し、新たに「ちょい・サポ」としてリニューアル実施しました。

【相談支援・権利擁護部門】

○地域包括支援センターの充実

住み慣れた場所で安心した生活づくりを地域の方々と考えるための地域ケア会議の開催と、専門職による自立支援型地域ケア会議を実施しました。さらに、認知症対策として地域支援推進員や認知症初期集中支援チームを配置しています。

○福祉サービス利用援助事業の推進と成年後見制度への適正な移行支援

生活支援員の募集・研修を行うとともに、成年後見に係る専門職と適時連携し、利用者へ総合的な支援の輪づくりに努めました。

○生活困窮者支援の推進

生活福祉資金貸付事業の相談を中心に、生活全般の課題を聞き取りながら、必要に応じて行政等とも連携し支援を行いました。さらに、新型コロナ関連の特例貸付の償還を支援する特例貸付等フォロー・アップ事業を開始し、生活が困窮している方々への訪問や相談会を通じて継続支援しました。また、物価高騰対策の一環である委託事業と連動させ、必要な世帯には生活物資の支援も行いました。

【在宅福祉事業部門】

○訪問介護・居宅介護支援事業の実施

不足している介護人材の確保については依然として厳しい状況が続いていますが、現体制を維持しつつ、感染症防止も徹底しながら、高齢者・障がい者等地域の利用者ニーズに応じた介護等サービスを提供しました。

○通所介護事業の実施

ADLの維持や科学的介護推進等に取り組み、利用者ニーズに応じた環境づくりに努めました。また、処遇改善加算の有効活用により職員雇用の安定化に努めました。

区 分 別 事 業 の 実 施 概 要

社 会 福 祉 事 業 区 分

1. 事務局拠点 (P42)

(1) 法人運営 (P45-46)

①法人運営一般 (40,438,089 円)

法人運営及び市社協事務局の管理運営を行い、社協の財源基盤となる住民会費、団体・法人会費への協力を広く呼びかけながら、税額控除団体の認可(R4.9.1)を受け寄付等をしやすい環境整備に努めました。

法人運営では理事会(定例 4 回、新会長選任 1 回)、評議員会(2 回)、三役会議(11 回)、評議員選任・解任委員会(1 回)の開催、民生児童委員協議会活動助成、校区社協運営助成、会計経理、ホームページ管理、車両管理、各種積立金の運用など、法人運営の基盤業務を行いました。財政調整積立金や社協会費を校区社協の拠点設置・運営への助成にも充当しました。また、組織運営に関わる各種規程の改正を行いました。

児童の福祉に対する関心を高める取り組みとして教育委員会及び市内小・中学校の協力のもと、「第 18 回児童・生徒の福祉作文コンクール」実施し、最優秀賞 2 点、優秀賞 13 点を決定し表彰しました。

職員の資質向上及び運営基盤強化の取り組みとして職員研修を実施し、第 6 期地域福祉活動計画の理念と基本目標等を共有しました。

情報提供・公開として、社協だよりを全世帯に配布し市民の参加が得られるよう内容も随時改善を図り、本会のホームページも活用しながら市民への情報発信に努めました。

頻発する災害支援に関しては、台風 7 号災害の綾部市へ 2 名、能登半島地震災害の石川県七尾市へ 1 名の職員を派遣し、現地の災害ボランティアセンターの支援を行いました。

②ボランティア活動事業 (178,800 円)

○地域ひとつなぎ事業

地域内の訪問・見守り体制をつくる「地域ひとつなぎ事業」を府社協の助成を受けて取り組みました。4 団体の申請に対し、計 86,000 円の助成金を交付しました。訪問だけでなく電話やメールなどを活用した見守り体制づくりが取り組まれました。

○地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業

西部地域包括支援センターと協働し、圏域内に所在する店舗(一部圏域外の店舗を含む)との見守り活動懇談会を 2 回実施しました。128 店舗を対象に懇談会の案内、パンフレット配付を行い、同センターが主体的に取り組む「地域の社会資源マップ」への掲載を依頼しました。懇談会では、地域の現状(高齢化率や人口動態等)や、市社協や地域包括支援センターの説明、「地域の社会資源マップ」の内容について意見交換を行いました。

○災害ボランティアセンターの広報用パンフレットの作成

災害ボランティアセンターを市民へ広く周知することを目的にパンフレットを作成し、

公共施設等で配架するなど、広報活動を行いました。

○災害ボランティアセンター推進協議会 研修及び訓練の実施

平成 27 年度から城陽市災害ボランティアセンターを設置(平常時は推進協議会)しています。今年度は、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行い、木津川運動公園にて研修会及び訓練を行いました。(3月2日(土))

③職員設置費補助 (44,697,545 円)

事務局職員の設置費用等への補助を受け、活用しました。

(2) 市補助等事業 (P45-46)

④福祉バス運行事業 (4,822,536 円)

福祉バス(ふれあい号：22 人乗、うち車いす 2 台)を運行し、各種福祉団体等の外出事業を支援しました。新型コロナの影響もありましたが、少しずつ予約件数が増加しています。

年間利用実績：146 件、1,362 人 (令和 4 年度 136 件、1,258 人)

⑤校区敬老会事業 (10,584,000 円)

校区敬老会を実施する校区社会福祉協議会に対して助成を行いました。今年度については 10 校区全てが会場開催され、うち全員を対象とした会場開催が 5 校区、対象者を限定した会場開催と全祝品配付の実施が 4 校区、全員を対象とした会場開催と全祝品配付の実施が 1 校区と、校区社協毎の状況に応じ柔軟に実施されました。

対象者 15,280 人 実配付及び参加者 9,183 人 会場参加率 22.1% (単位：人)

| | | | | | |
|-------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 校 区 | 久 津 川 | 古 川 | 久 世 | 深 谷 | 寺 田 |
| 対象者 | 1,417 | 1,356 | 1,611 | 1,813 | 1,673 |
| 会場参加者 | 354/1,417 | 43/173※ | 388/1,611 | 80/401※ | 320/1,673 |
| 祝品配付 | — | 1,356/1,356 | — | 1,813/1,813 | — |
| 会場参加率 | 25% | 24.9% | 24.1% | 20.0% | 19.1% |
| 校 区 | 寺 田 南 | 寺 田 西 | 今 池 | 富 野 | 青 谷 |
| 対象者 | 1,047 | 1,958 | 1,549 | 1,828 | 1,028 |
| 会場参加者 | 307/1,047 | 280/1,958 | 17/56※ | 62/222※ | 270/1,028 |
| 祝品配付 | — | — | 1,531/1,549 | 1,806/1,828 | 1,028/1,028 |
| 会場参加率 | 29.3% | 14.3% | 30.4% | 27.9% | 26.3% |

※印…会場参加者を長寿・米寿等節目のお祝い対象者に限定して会場開催(出席者/対象者)

⑥地域福祉活動推進事業 (7,006,000 円)

○校区社協の運営・事業の助成

【地域とつながる活動助成】【地域を知る・学ぶ活動助成】

今年度は、多くの取り組みがコロナ禍前の形式で取り組まれるようになりました。サロン等については参加者が増えつつあり、バスを利用した交流会も実施されました。さらに買い物支援の取り組みなど新しい取り組みも生まれました。今後も、地域活動の中核となる校区社協の活動が継続できるよう、状況に応じた事業の実施を目指しています。

【広報活動助成(広報紙発行助成)】

校区社協活動の啓発を目的とした全戸配布広報紙を対象に、申請のあった9校区31回の広報紙作成経費の一部を助成しました。

【校区社協運営助成】

校区社協の組織運営のための経費として助成しました。

【活動拠点づくり助成】

拠点が設置されている深谷・富野・久津川・久世の4校区社協に対して、拠点運営費を助成しました。また、それ以外の校区社協で有料施設を借りて基幹会議を開催した場合の施設使用料の一部を助成しました。

○校区社協会長会議の開催

毎月第2木曜日(8月除く)、校区社協との連携や相互の情報交換の場として開催しました。第6期地域福祉活動計画をもとに地域福祉活動について情報交換を行うことなど、お互いの校区社協での取り組みや他地域の活動情報を共有することができました。

○福祉教育推進交流会

小・中学校の担当教師、ボランティアグループ、障がい者団体等福祉体験学習の関係者等が集う交流会を開催しました。LGBTQの当事者の方に「多様な性と生を生きる子どもたちのために」をテーマに講演いただき、情報共有・交換を行いました。

○地域福祉リーダー研修会

【地域福祉活動の意味とこれからの課題について】

第6期地域福祉活動計画を念頭に、改めて地域福祉活動の意味や、各校区社協が抱える課題などについて意見交換や校区での取り組みを共有し、次につながるヒントを考える機会として開催しました。

・日程及び場所：11月2日(木) 10:00～12:00 福祉センター

・参加者：33人(校区社協23人、市社協役職員10人)

○第11回きょうと地域福祉実践交流会

本年度は第11回きょうと地域福祉実践交流会を、京都市中丹3社協が幹事社協として主催し、各市町村等でも会場を設けオンラインで実施されました。本会では市立福祉センターを会場に参加しました。

・日程及び場所：11月25日(土) 13:00～16:25 福祉センター

・参加者：28人(校区社協20人、市社協役職員8人)

○校区社協テーマ別研修会

【担い手の確保をみんなで考えよう】

校区社協の長年の課題である「担い手の確保」をテーマとし、2校区社協からの実践報告やグループワーク・意見交流会等を通じて、課題の共有や今後の対策等を考える機会として開催しました。

・日程及び場所：3月23日(土) 10:00～11:55 福祉センター

・参加者：29人(校区社協20人、市社協役職員9人)

○第6期地域福祉活動計画推進委員会

令和 5 年度から令和 10 年度までの 6 か年計画である「第 6 期地域福祉活動計画」に関して定期的な進捗状況のチェックと評価をするために推進委員会を開催しました。

(3) 市委託等事業 (P45-46)

㊦福祉センター事業 (6,105,947 円)

市から指定管理者として指定を受け、センターの維持管理及びホール等の貸館業務を行いました。会議室等の貸出は、3,584 件、55,842 人(予約ベース)の利用がありました。

㊧声の広報等発行事業 (607,424 円)

市の委託により視覚障がいの希望者へ、朗読ボランティア陽声の協力により市広報紙「広報じょうよう」を録音、CD 化(ダイジー)し配付しました(配付のべ数 436 人)。

また、市議会の委託による声・点字の市議会だよりの発行も行い、それぞれ陽声、点字サークルたんぼぼの協力で視覚障がい者への配付を行いました(配付のべ数 声の市議会だより 44 人、点字市議会だより 24 人)。なお、点字の市議会だより発行事業は、令和 5 年末で点字サークルたんぼぼへの委託は終了しました。

㊨紙おむつ宅配事業 (1,013,311 円) ※令和 5 年度末事業終了

自宅から電話一本で購入できる、紙おむつ宅配事業「さわやか宅配便」を実施しました。併せて要介護 3・4・5 と認定された高齢者の方に対する「城陽市紙おむつ購入費支給事業」を城陽市より受託し、給付券方式による給付事業を展開しました。

同事業は、民間サービスが充実し利用者数も減少したため、令和 5 年度で終了しました。

【利用実績】 利用会員登録者数：24 人(令和 4 年度 32 人)、うち城陽市紙おむつ購入費支給事業認定者数：23 人(令和 4 年度 29 人)

㊩生活支援コーディネーター事業 (2,847,672 円)

市から委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しました。コーディネーターは地域において住民主体の支えあい活動を広げる体制づくりを進めていくために、市担当課と協議を行い、各地域団体の取り組みに出向きました。

(4) 府社協委託等事業 (P45-46)

㊰生活福祉資金貸付等事業 (3,070,400 円)

生活福祉資金の相談・貸付・償還の窓口として運営にあたりました。福祉資金、教育資金の貸付決定は 20 件、貸付決定総額は 7,847,000 円でした。

(令和 4 年度 37 件、計 14,844,000 円)

「総合支援資金」、「不動産担保型生活資金」、「臨時特例つなぎ資金」の貸付窓口も行いましたが、申請・貸付はありませんでした。

償還にあたっては、引き続き相談員を配置し長期滞納世帯への指導対応を行い、特例貸付については償還免除や償還猶予の相談にも対応しました。

生活福祉資金調査委員会は2回開催しました。

㊸特例貸付フォローアップ事業 (9,750,000 円)

年度途中よりコロナ特例貸付対象者の償還対応を中心とした「特例貸付フォローアップ事業」が始まり、新たに「京都・寄り添いワーカー」を配置しました。生活困窮状態が続く借受人等が地域で安心して暮らすことができる地域づくりの推進のため、償還支援や生活支援等に取り組みました。

㊸物価高騰対策緊急生活支援事業 (2,275,000 円)

物価高騰や長期化するコロナ禍の影響により生活に困窮されている方々に、食料・生活必需品を配付し家庭の状況を把握しながら、必要な支援に繋げることを目的として事業を行いました。生活福祉資金特例貸付の借受人等を対象に案内し、訪問や面談等で受付を行いました。配付については城陽商工会議所と連携し、市内の米穀店等と協力し合計 650 個を提供しました。

(5) 福祉サービス利用援助事業 (P45-46)

㊸福祉サービス利用援助事業 (4,891,160 円)

認知症や知的・精神障がいのある方等を対象に、日常的な金銭や書類の管理や、福祉サービスの利用を支援する事業を府社協の委託を受けて実施し 18 年目となりました。実利用者数は新規契約者、解約・終了者を含めて 63 名でした。

実務者研修、関係機関との情報連絡会議や生活支援員現任研」が開催され、必要に応じ参加しました。また、山城北中部ブロックの 7 市町社協と合同で「I♡地域 生活支援サポーター講座」が開催され 7 市町村社協の生活支援員が参加しました。

【事業実績】

| 令和 5 年度 | | | 令和 4 年度 |
|-----------|------|---|---------|
| 契約利用者数 | 63 人 | 認知高齢者等 34 人、知的障がい者等 6 人、精神障がい者等 10 人、その他 13 人 | 56 人 |
| 生活支援員登録者数 | 18 人 | | 17 人 |

○山城北中部広域合同講座 (7 市町社協主催)

圏域内での情報交換等を実施(年 6 回)。「I♡地域生活支援サポーター講座」開催

○生活支援員サポート研修

第 1 回：京都市市民防災センター見学 第 2 回：I♡地域生活支援サポーター講座参加

(6) 共同募金配分事業 (P45-46)

㊸一般募金配分金事業 (3,620,648 円)

前年度の赤い羽根共同募金の実績に基づいて、京都府共同募金会から市社協へ交付された配分金により、下記の事業を実施・配分しました。

○社会福祉大会の開催

2 月 10 日(土)に第 45 回城陽市社会福祉大会を文化パーク城陽にて開催しました。式典では、地域福祉活動の功績顕著な方々や団体に対する表彰として、79 名の個人及び 21 の

団体を表彰するとともに、「第 18 回児童・生徒の福祉作文コンクール」の 2 名の最優秀賞受賞者への表彰及び作文発表を行いました。第 3 部では、大谷大学の志藤修史教授から「つながる秘訣は持ち寄り型～第 6 期地域福祉活動計画を踏まえて～」というテーマで講演いただきました。地域でのつながりの大切さを軸に他の地域の活動紹介を踏まえ、うまくつながっていく秘訣や新たなつながり方を考えられる機会としました。また、障がい者施設の授産製品の PR 及び販売ブースを設けました。

表彰：市長表彰 10 人、市社協会長表彰 46 人、市社協会長感謝状 23 人・21 団体

○社協だよりの発行

定期的に 4 回発行し、本会事業紹介や地域の活動紹介など福祉に関する情報提供を行いました。また、紙面の充実に向けた協議を各発行前に行い、読みたくなる内容を検討し紙面の作成を行いました。毎回クロスワードやクイズを掲載し、住民参加型の内容も取り入れ、ハガキ・メール・窓口・QR コードにより募集しました。結果、今年度は毎号 50～100 名の応募をいただきました。(抽選の上 10 名の方にプレゼント)。また、ボランティアグループのもと CD 版・点字版の社協だよりの提供も行いました。

○福祉協力校の指定及び助成

市社協指定 15 校(全小・中学校)を指定し、取り組みに対し一部助成を行いました。

○一人親家庭新入学児童激励費 6 人

○校区社協前期活動助成 9 校区

○掲示板整備事業助成 9 基(新規 5、修繕 4)

⑭歳末たすけあい募金配分金事業 (4,363,140 円)

今年度の歳末たすけあい募金の浄財を活用し、下記の配分を行いました。

在宅要介護者の介護者への激励金 341 人、青少年福祉活動修学旅行援助 11 人、校区社協後期活動助成 9 校区、社会福祉団体事業費助成 14 団体、自治会福祉活動応援助成 25 自治会、地域福祉活動一般公募助成 5 団体、地域福祉活動備品整備等に配分しました。

※市社協が事務局として 46 年間継続してきた障がい児のための「城陽サマースクール」も、公的制度の充実等を受けて今年度で終了となりました。

(7) 善意銀行基金 (P45-46) 【基金残高 50,801,039 円】

⑮善意銀行基金 (1,672,479 円)

今年度は 18 件、1,269,409 円の寄付がありました。また、市民への福祉情報の提供手段として基金より社協だより作成および配付に係る費用の一部に 132,299 円を活用いたしました。基金は公共債での運用を継続しています。

(8) ボランティア基金 (P45-46) 【基金残高 171,906,805 円】

⑯ボランティア基金 (2,112,812 円)

○ボランティアグループ・連絡協議会への助成

登録 7 グループ及びボランティア連絡協議会へ事業助成を行いました。

今年度は、朗読ボランティア「陽声」が40周年記念事業実施のため、特別助成の申請があり、事業助成を行いました。

○ボランティアルーム・ミーティングルームの維持管理

ボランティア活動の活性化のため、福祉センター3階のミーティングルームとともにボランティア活動の拠点として提供しました。

ボランティアルーム利用実績：449件、2,180人

○福祉ふれあいまつり実行委員会への助成

令和5年度第33回福祉ふれあいまつり「福祉活動啓発ポスター展示会」を、市内66団体の協力を得て開催しました。参画する55団体のポスターを11月8日(水)～11日(土)にアル・プラザ城陽 プラムコートにて展示し、11月25日(土)～12月26日(火)に文化パーク城陽スロープでも展示しました。アル・プラザ城陽では福祉施設の授産製品販売も行い、併せて約800人の参加がありました。新しく福祉に関する相談ブースやステージ発表、ボッチャ体験スペースも設置し、多くの市民の方にパラスポーツを体験してもらう機会となりました。

○福祉協力校事業への助成

市社協指定15校(市内全小・中学校)を指定し、子どもの頃からの福祉教育の取り組みに対して一部助成を行いました。

○ボランティアニュースの発行

市民への情報提供として年間3回発行し、登録ボランティア、校区社協へ送付し、各コミセン、老人福祉センター、市民活動支援センター等公共施設に配付しました。

○ボランティアグループ活動支援

市社協登録のボランティアグループに対し、運営及び活動に関する相談受付、活動希望者及び支援を希望されている方とグループとのマッチング等のコーディネートや、随時、民間助成等の情報提供及び情報発信を行いました。

○ボランティア活動推進事業

4年ぶりに「ボランティアフェスティバル in 城陽」を福祉センターにて会場開催し、153名の方に参加いただきました。また、案内チラシ、福祉ボランティア募集ポスターを市内公共施設等に配架や市内自治会に掲示依頼し周知・募集を行いました。

○ボランティア講座の開催

①「あなたの参加が地域を元気にする～互いに支えあえる地域を目指して～」(受講：29人)

講師：認定NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長 中村 順子 氏

②「誰かのために、自分のために…ボランティアやってみよう！」(受講：10人)

講師：関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 南 多恵子 氏

○ボランティア保険料補助

市社協へのボランティア登録者942人のうち、ボランティア保険加入希望者926人に対し、保険料1人あたり150円の助成を行いました。

○ボランティア基金運営委員会の開催

基金の円滑な運営を図るための委員会を開催しました(1回)。

(9) 住民参加型相互援助サービス事業 (P45-46)

⑰ちよい・サポ事業 (64,000 円)

平成7年度から公的な福祉制度の対象とならない世帯に対する支援活動として、会員相互による助けあい事業を実施していましたが、令和5年10月に規程を改正し事業の内容を大幅に見直しました。

主な改正点として、利用対象を住民が抱える日常生活上の「困りごと」を重視し、福祉制度を利用している方でも併用可能にしました。さらに利用可能サービスの拡大、1時間単位の支援を30分単位に変更、料金の変更など、より利用しやすくなるよう改善し、協力いただく会員の方にも活動を始めやすく無理なく続けられるような仕組みとしました。

令和4年度は利用会員2人に対して協力会員2名。サービス支援81回(103時間)の活動を実施したのに対し、令和5年度は利用会員7名、協力会員は27名に増加。うち、利用会員6名に対しては必要に応じ市社協職員も対応し、サービス支援回数98回(121時間)の活動を行いました。

(10) 退職金会計 (P47-48)

⑱職員退職基金 (34,640,936 円) 【基金残高 7,549,126 円】

退職金の支出と基金への積立を行いました。

⑲介護事業関係職員退職功労金 (2,176,000 円) 【基金残高 20,288,400 円】

パートタイムヘルパーの退職金の支出と基金への積立を行いました。

(11) 老人福祉センター事業 (P47-48)

引き続き新型コロナの影響で、活動を一部縮小しての運営となりました。

令和5年度末現在、開苑は通常通り(9時~16時)ですが、風呂の提供は中止しています。

⑳陽寿苑事業 (29,035,815 円)

「陽寿苑まつり」や日々のサークル活動による生きがいづくりと健康増進に努め、苑外レクリエーションも実施しました。ニュースポーツや各種教室の開催を行い、若い年代の方たちにも好評です、安心して笑顔になれる苑を目指していきます。

年間利用者数：40,593人

㉑陽和苑事業 (15,866,996 円)

隣接の久津川保育園との幼老のふれあい交流、生きがいと健康増進、憩い・安らぎの場を提供するとともに、文化・体育のサークル活動に参加し、趣味を楽しみ、暮らしにリズムをつくり、友だちの輪を広げる支援活動を行っています。そのほか、「陽和苑まつり」、高齢者交通安全教室等講習会、花いっぱい運動を実施しました。

年間利用者数：22,839人

㉒陽東苑事業 (21,415,330 円)

高齢者が気軽に楽しく健康に、一人でいつでもご利用いただけるように、憩いの場を提供しています。フレイル予防のため、健康体操(ラジオ体操、筋トレ、脳トレ、口腔体操など)を毎日実施しました。保健師による健康相談を実施しました。11月には創立30周年記念事業を実施しました(陽東苑まつり)。健康・教養教室として、定期的に「認知症予防ゲーム」「フラワーアレンジメント」「ペン習字」「いきいき呼吸体操」「ミニボールエクササイズ」などを実施しました。苑広報紙「よもやまばなし」も毎月発行しました。

年間利用者数：9,121人

㊸陽幸苑事業 (26,655,990円)

日頃の活動発表の場でもある「陽幸苑まつり」を実施し、「いっぺん来てみ、陽幸苑」をスローガンに掲げ大いに盛り上がりました。また、毎週火・水の看護師による「口腔体操」「手足体操」は好評です。「昭和歌謡コンサート」を実施し、ご近所の方と一緒に楽しみました。体力低下予防のため、ラジオ体操や各種健康器具を導入し実施しています。

年間利用者数：10,092人

2. 訪問介護拠点 (P43)

(12) 訪問介護事業 (P49-50)

㊸訪問介護事業 (介護) (50,439,392円)

介護保険制度における高齢者の方々へのヘルパー派遣時間数は、13,009時間(訪問介護と第1号訪問介護の合算)となり、前年度(16,029時間)から3,020時間減少しました。(前年度比81.6%)。

職員への処遇面では処遇改善加算Ⅱ、特定処遇改善加算Ⅰ及びベースアップ等支援加算を取得し、期末手当の支給等を継続しました。さらに処遇改善支援補助金を活用したヘルパーの時給引上げと介護職員等へ月額手当の支給も継続し、待遇改善を図りました。

また、特定事業所加算Ⅱを継続取得し、利用者の受け入れ増と人材確保に努め、運営方法も随時見直しながら収支改善に取り組んできました。

㊸訪問介護事業 (障害) (18,901,447円)

障害者総合支援制度及び市委託事業による障がい者の方々へのヘルパー派遣時間数は、5,394時間となり、前年度(5,170時間)から224時間増加しました。(前年度比104.3%)。

【訪問介護等事業実績】

(単位：時間)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 訪問介護 | 778 | 799 | 741 | 637 | 647 | 601 |
| 1号訪問 | 432 | 456 | 434 | 437 | 434 | 423 |
| 障害者総合支援法 | 441 | 457 | 441 | 428 | 440 | 479 |
| 市委託事業(移動) | 6 | 10 | 7 | 7 | 3 | 2 |
| 計 | 1,657 | 1,722 | 1,623 | 1,509 | 1,524 | 1,505 |

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----|----|----|----|-------|
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 令和4年度 |
|-----|-----|-----|----|----|----|----|-------|

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 674 | 667 | 650 | 603 | 579 | 564 | 7,940 | 10,358 |
| 443 | 432 | 400 | 377 | 386 | 415 | 5,069 | 5,671 |
| 470 | 465 | 437 | 392 | 418 | 449 | 5,317 | 5,090 |
| 7 | 5 | 8 | 7 | 5 | 10 | 77 | 80 |
| 1,594 | 1,569 | 1,494 | 1,378 | 1,388 | 1,438 | 18,403 | 21,199 |

㉗居宅介護支援事業 (24,444,533 円)

居宅介護支援事業では、介護支援専門員 4 人(うち主任介護支援専門員 1 人)体制を活かし、特定事業所加算Ⅱの継続取得やケアプラン作成件数の上限緩和措置の適用を受け、適切かつ合理的運営を行う事業所として業務を行っています。また、各種研修や実習生の受け入れ、さらには主任介護支援専門員の育成を通じて、質の高いサービス提供に努めています。

ケアプラン作成数は 1,608 件となり、前年度(2,419 件)から体制変更(職員減)もあり、811 件減少しました(前年度比 66.5%)。

【居宅介護支援事業実績】

(単位：件)

| 件数/月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 介護給付作成 | 117 | 116 | 122 | 118 | 120 | 124 |
| 予防給付作成 | 12 | 13 | 11 | 12 | 11 | 11 |
| 計 | 127 | 126 | 130 | 125 | 126 | 133 |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 | 令和 4 年度 |
|------|------|------|-----|-----|-----|-------|---------|
| 122 | 122 | 129 | 123 | 122 | 122 | 1,457 | 1,858 |
| 12 | 14 | 13 | 14 | 14 | 14 | 151 | 561 |
| 132 | 130 | 137 | 135 | 133 | 136 | 1,608 | 2,419 |

㉘ほのぼのサービス事業 (57,600 円※内部間繰出)

本事業所の利用者(要介護者等)を対象に、在宅福祉の充実を図るため介護保険給付の対象とならないサービスを行ってきました。令和 5 年度より職員による支援も可能な体制とし、継続しています。事業提供時間数は 32 時間となりました。

3. 通所介護拠点 (P44)

(13) 通所介護事業 (P51-52)

㉙通所介護事業 (89,152,714 円)

令和 5 年度は、個別機能訓練加算、科学的介護加算、ADL 維持等加算等の評価を行う取り組みを安定的に実施いたしました。また、認知症回想法の「おとなの学校」を取り入れ、毎日 30 分認知症予防活動を実施。利用者の約半数が参加されています。

空調機の更新工事で 3 日間、台風で 1 日間の休業をしました。また、ボイラー配管更新工事で 2 日間入浴を中止しています(総利用者数：959 人)。前半はご利用者数も上がりましたが、後半になると伸び悩み年度末には終了になる方も多くありました(令和 5 年度のべ 7,319 人 令和 4 年度のべ 7,571 人：前年度比 96.7% 要介護者前年度比 98.4%)。

「あなたらしさを応援します」をキャッチフレーズに、ご利用者が自分らしく生活できる

事を考え、支援することを目指しています。また、ご自身でできることは継続する、増やす事を目標に、自立支援活動に取り組んでいます。

職員の資質向上のために、事業計画書に基づき研修を毎月1回行っており、職員が講師を務めるなど、資質向上に向けた取り組みを実施しています。

【西部デイサービスセンター：通所介護 利用状況表(カッコ内：介護予防通所介護)】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 実施日数 | 25 | 24 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 24 |
| 実利用者数 | 77 (23) | 77 (22) | 80 (22) | 81 (21) | 81 (21) | 81 (20) | 81 (20) | 80 (18) | 80 (20) |
| 利用延人数 | 595 (121) | 594 (111) | 637 (162) | 660 (129) | 627 (119) | 638 (106) | 615 (101) | 622 (112) | 579 (107) |
| 1日平均利用者数 | 23.8 (4.8) | 24.8 (4.6) | 24.5 (6.2) | 25.4 (5.0) | 24.1 (4.6) | 24.5 (4.1) | 23.7 (3.9) | 23.9 (4.3) | 24.1 (4.5) |

| | 1月 | 2月 | 3月 | 令和5年度合計 | 令和4年度合計 | 前年度比 |
|----------|---------------|---------------|---------------|------------------|------------------|----------------|
| 実施日数 | 24 | 25 | 26 | 304 | 308 | 98.7% |
| 実利用者数 | 77 (18) | 82 (21) | 82 (20) | 959 (246) | 975 (273) | 98.4% 90.1% |
| 利用延人数 | 555 (117) | 579 (114) | 618 (135) | 7,319 (1,434) | 7,571 (1,490) | 96.7% 96.2% |
| 1日平均利用者数 | 23.1 (4.9) | 23.2 (4.6) | 23.8 (5.2) | 24.1 (4.7) | 24.6 (4.8) | 97.9% 97.5% |

公益事業区分

4. 地域包括支援拠点 (P73)

(14) 地域包括支援事業 (P74-75)

①介護予防事業 (中部包括) (30,042,460円)

要支援1・要支援2の方及び事業対象者が介護予防サービスや総合事業の利用に際し、予防・改善の観点から、利用者の自立を促す目標指向型のプランを策定し支援しました(地域の居宅介護支援事業所への委託を含む)。総合事業についても、基本チェックリストを実施し、必要なサービス(通所型・訪問型)につなげました。

<介護予防プラン等作成件数> (単位：件)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 包括担当分 | 649 | 670 | 674 | 681 | 678 | 693 |
| 委託担当分 | 65 | 66 | 60 | 56 | 59 | 58 |
| 合計 | 714 | 736 | 734 | 737 | 737 | 751 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 令和4年度 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 694 | 703 | 722 | 723 | 732 | 722 | 8,341 | 7,268 |
| 56 | 54 | 60 | 59 | 56 | 55 | 704 | 1,033 |
| 750 | 757 | 782 | 782 | 788 | 777 | 9,045 | 8,301 |

※中部包括は3圏域(東城陽中、城陽中、南城陽中)を担当しています。

②地域支援事業(中部包括)(58,701,069円)

引き続き地域におけるネットワーク構築のさらなる推進と、問題解決に向けた多職種の協働に取り組みました。新型コロナの影響もありましたが、民生児童委員や校区社協との連携を念頭に置き、できる限り団体の定例会議や行事に参加するよう努めました。

(1)総合相談業務

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(介護支援専門員)の専門職の連携により、高齢者とその家族の悩み・問題に対応し、適切な関係機関・サービスにつなげました。

②市内2ヶ所の在宅介護支援センターの協力を得て、地域住民の相談を受け、必要に応じて城陽市や、その他の関係機関と連携して対応しました。

【相談利用実績】

| 内容 | 担当センター 年度 | 中部包括 | |
|---------|--------------|-----------|-----------|
| | | 令和 5年度 | 令和 4年度 |
| ①相談延べ人数 | | 1,197人 | 1,205人 |
| ②相談実人数 | | 1,021人 | 940人 |

【中部包括相談内容別実績】(複数回答)

| 相談内容 | | 令和5年度 | | 令和4年度 | |
|----------------|-------------|-------|-----|-------|-----|
| 介護保険制度 | 居宅サービス | 435 | 638 | 390 | 610 |
| | 施設サービス | 36 | | 39 | |
| | 介護予防サービス | 167 | | 181 | |
| 福祉サービス | 高齢者福祉関係 | 10 | 13 | 10 | 13 |
| | その他(障がい、生保) | 3 | | 3 | |
| 権利擁護 | 成年後見等 | 9 | 176 | 36 | 214 |
| | 高齢者虐待 | 163 | | 172 | |
| | その他 | 4 | | 6 | |
| 保険医療 | 認知症等 | 55 | 85 | 74 | 118 |
| | その他疾患 | 30 | | 44 | |
| 日常生活 (困りごと) | 自宅内 | 70 | 93 | 95 | 117 |
| | 自宅外 | 23 | | 22 | |
| その他 | その他 | 42 | 42 | 24 | 24 |
| 介護予防支援 | 申請代行 | 148 | 150 | 109 | 109 |
| | チェックリスト | 2 | | 0 | |
| 合計 | | 1,197 | | 1,205 | |

【在宅介護支援センター相談内容別実績(参考)】

| 内容 | 担当センター 年度 | 在介(2) | 在介(2) |
|-------------|--------------|-----------|-----------|
| | | 令和 5年度 | 令和 4年度 |
| ①権利擁護関係 | | 0件 | 0件 |
| ②虐待関係 | | 0件 | 0件 |
| ③ケアマネ支援(再掲) | | 0件 | 0件 |
| ④介護保険サービス関係 | | 336件 | 386件 |
| ⑤介護保険外サービス | | 56件 | 115件 |
| ⑥認知症・精神保健関係 | | 193件 | 343件 |

| | | |
|----------------------|---------|---------|
| ⑦医療・健康 | 1,107 件 | 1,261 件 |
| ⑧介護家族の健康 | 186 件 | 181 件 |
| ⑨その他（訪問調査、介護用品購入仲介含） | 516 件 | 542 件 |
| 合 計 | 2,394 件 | 2,828 件 |

(2)権利擁護事業

- ①成年後見制度利用への支援・・・金銭管理が困難になった高齢者世帯に対して制度利用の支援を行い、関係部署と連携して相談・支援に努めました。
- ②虐待事例への対応・・・市民や関係機関からの情報をもとに対応し、本人の安全確保、良好な家族関係の構築への早急な対応に努めました。

(3)包括的・継続的ケアマネジメント

- ①地域ケア会議開催・・・平成 25 年度から開始し、担当圏域で各 3 回を予定通り開催しました。今まで開催した地域ケア会議の中で出てきた意見や地域の課題を抽出し、住み慣れた地域で生活するために、どのような取り組みが必要であるかを検討する場としました。また、今年度より自立支援型地域ケア会議を各圏域 1 回ずつ開催し、作成したケアプランについてリハビリテーション専門職や薬剤師、栄養士の意見をもとに、より良いケアプランとなるよう助言をいただき振り返る場としました。

【従来型地域ケア会議開催状況】（中部包括開催分）

【東城陽中圏域】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催圏域 | 日 程 |
| 圏域 | 6 月 23 日(金)、9 月 15 日(金)、12 月 19 日(火) |

【城陽中圏域】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催圏域 | 日 程 |
| 圏域 | 7 月 26 日(水)、10 月 19 日(木)、1 月 18 日(木) |

【南城陽中圏域】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催圏域 | 日 程 |
| 圏域 | 8 月 17 日(木)、11 月 16 日(木)、2 月 15 日(木) |

【自立支援型地域ケア会議開催状況】（中部包括開催分）

【東城陽中圏域】

| | |
|-------------|------------------|
| 日 程 | 内 容 |
| 1 月 18 日(木) | 79 歳女性 ケアプランについて |

【城陽中圏域】

| | |
|--------------|------------------|
| 日 程 | 内 容 |
| 11 月 16 日(木) | 65 歳男性 ケアプランについて |

【南城陽中圏域】

| | |
|-------------|------------------|
| 日 程 | 内 容 |
| 3 月 21 日(木) | 74 歳女性 ケアプランについて |

(4)その他

- ①地域住民への広報・啓発活動・・・各種団体の定例会等に参加し、介護保険制度の説明や地域包括支援センター・認知症初期集中支援チームの紹介、脱水症や感染症についての説明

や注意喚起、各校区の情報共有する場を持つよう取り組みました。

②介護予防教室・・・平成 29 年度より実施している「ゴリゴリ元気体操」は現在 9 か所で実施されています。コロナの影響で実施が休止となっていた団体もありましたが、現在は全か所で継続的に実施しています。

③介護予防事業（西部包括）（14,079,068 円）

西城陽中学校圏域については、西部地域包括支援センターが担当し支援を行っています。中部包括と同様、利用者の自立に向けた目標志向型のプランを策定し支援しました。

<介護予防プラン作成件数>(単位：件)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 包括担当分 | 258 | 267 | 271 | 264 | 265 | 263 |
| 委託担当分 | 28 | 27 | 27 | 26 | 28 | 31 |
| 合計 | 286 | 294 | 298 | 290 | 293 | 294 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 令和4年度 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 268 | 274 | 275 | 272 | 279 | 282 | 3,238 | 3,059 |
| 29 | 31 | 29 | 29 | 29 | 29 | 343 | 460 |
| 297 | 305 | 304 | 301 | 308 | 311 | 3,581 | 3,519 |

④地域支援事業（西部包括）（23,613,004 円）

引き続き地域包括ケアシステムの構築の推進を目指し、多職種の協働に取り組みました。担当圏域の各小学校区との連携強化を図り、校区社協や民児協が実施する会議等へ参加しました。

(1)総合相談業務 【相談利用実績】

| 内容 | 担当センター 年度 | 西部包括 | |
|---------|--------------|-----------|-----------|
| | | 令和 5年度 | 令和 4年度 |
| ①相談延べ人数 | | 1,042 人 | 989 人 |
| ②相談実人数 | | 699 人 | 638 人 |

【西部包括相談内容別実績】

| 相談内容 | | 令和5年度 | | 令和4年度 | |
|----------------|-------------|-------|-----|-------|-----|
| 介護保険制度 | 居宅サービス | 148 | 437 | 149 | 322 |
| | 施設サービス | 26 | | 16 | |
| | 介護予防サービス | 263 | | 157 | |
| 福祉サービス | 高齢者福祉関係 | 18 | 27 | 32 | 35 |
| | その他（障がい、生保） | 9 | | 3 | |
| 権利擁護 | 成年後見等 | 17 | 210 | 38 | 223 |
| | 高齢者虐待 | 189 | | 185 | |
| | その他 | 4 | | 0 | |
| 保険医療 | 認知症等 | 187 | 225 | 183 | 224 |
| | その他疾患 | 38 | | 41 | |
| 日常生活 (困りごと) | 自宅内 | 48 | 65 | 64 | 75 |
| | 自宅外 | 17 | | 11 | |
| その他 | その他 | 22 | 22 | 50 | 50 |
| 介護予防支援 | 申請代行 | 56 | 56 | 59 | 60 |

| | | | |
|----|---------|-------|-----|
| | チェックリスト | 0 | 1 |
| 合計 | | 1,042 | 989 |

(2)権利擁護事業

①権利擁護支援への対応・・・※中部包括同様

②虐待事例への対応・・・※中部包括同様

(3)包括的・継続的ケアマネジメント

①地域ケア会議開催・・・今年度は3回実施しました。会議では実際の事例を中心に、住み慣れた地域で高齢者が暮らすことのできる方法などについて、地域の社会資源マップを活用しながら、話しあいました。また、「自立支援型地域ケア会議(高齢者の自立生活に向け、専門職の助言を中心とした支援方法を検討する会議)」を1回実施しました。

【従来型地域ケア会議開催状況】(西部包括開催分)

【西城陽中圏域】

| 開催圏域 | 日 程 |
|------|----------------------------|
| 圏域 | 5月31日(水)、9月28日(水)、1月31日(水) |

【自立支援型地域ケア会議開催状況 西城陽中圏域】(西部包括開催分)

| 開催圏域 | 日 程 |
|------|----------|
| 圏域 | 9月22日(木) |

②城陽包括ケア会議開催・・・城陽市内にある居宅介護支援事業所を対象に研修会を今年度2回開催しました。研修会だけでなく、ケアマネジャー同士の情報共有や今後の連携なども目指し、意見交換会も行いました。

| 日 程 | 内 容 |
|-----------|---|
| 11月21日(火) | 「子どものいない、または子どもの関わりが難しい一人暮らしの利用者の対応について」～どう対応されていますか？どう対応されていましたか？～ |
| 3月18日(月) | 令和6年度介護保険報酬改定について |

(4)その他

①地域住民への広報・啓発活動・・・中部包括同様に各種団体の会議へ参加し、広報、啓発活動に取り組みました。また、市社協地域福祉係と協働で、地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業を活用し、西城陽中学校圏域に所在する店舗に対して、広報や見守り活動懇談会を2回行いました。懇談会では、地域ケア会議で活用している「地域の社会資源マップ」の作成に関して、意見交換も行いました。

②介護予防教室・介護者教室・・・昨年度に引き続き「ゴリゴリ元気体操」を現在5か所が継続的な活動を行っています。また今年度、新たに1か所新規団体の参加があり、継続的に活動を行なっています。家族介護者教室については今年度未実施となっています。

㊥認知症地域支援推進事業 (15,301,108円)

平成28年に認知症地域支援推進員を配置、平成29年10月に認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務や、関係機関をつなぐ連携支援、認知症への理解を深める普及啓発に努めています。

(1)認知症初期集中支援チームの設置・・・保健師、社会福祉士、認知症サポート医でチー

ムを構成し、訪問による観察・評価、家族支援等を集中的に行いました。

【認知症初期集中支援チーム相談対応人数実績】

| 相談数 | 支援終了 18人 (継続含) | 性別 | | 年齢 | | | |
|-----|----------------------|----|----|-------|--------|--------|--------|
| | | 男性 | 女性 | 64歳未満 | 65-69歳 | 70-74歳 | 75-79歳 |
| 14人 | | 6人 | 8人 | 1人 | 1人 | 1人 | 2人 |

| 年齢 | | 日常生活圏域 | | | | | 世帯状況 | | |
|--------|-------|--------|-----|----|-----|-----|------|----|-----|
| 80-84歳 | 85歳以上 | 北城中 | 東城中 | 城中 | 西城中 | 南城中 | 独居 | 夫婦 | その他 |
| 6人 | 3人 | 1人 | 4人 | 6人 | 3人 | 0人 | 4人 | 5人 | 5人 |

自宅訪問や通院同行などの訪問回数は合計 146 回でした。

チームにおける支援方針等を検討する「チーム員会議」では、医師（サポート医）を交えて、毎月 1 回(zoom 会議含む)開催しました。

(2)認知症地域支援推進員の活動

①認知症の人やその家族の支援

- ・チーム支援の対象とならない方への個別相談・・・相談件数 189 件
- ・家族介護者のつどい(教室)・・・3回(家族支援として)

②医療機関、事業所、支援機関との連携

- ・認知症疾患医療連携会議への参加・・・2回(府立洛南病院)
- ・地域ケア会議、包括ケア会議への参加・・・3回

③社会参加活動のための体制整備

- ・認知症本人(当事者)ミーティング・・・4回(市高齢介護課、カフェほうおう協力)
- ・認知症当事者交流会・・・2回

④認知症ケアパスの普及・啓発・・・300部配布(出前講座等にて)

⑤認知症理解を深めるための普及・啓発

- ・認知症サポーター養成講座、出前講座・・・市内施設 10 回、地域住民団体 4 回
- ・認知症キッズサポーター養成講座・・・小学校 2 校で 4 回(小学生 5、6 年生を対象)
- ・みんなのカフェ・・・3回
- ・世界アルツハイマーデー啓発・・・資料配架・配布と当事者の声の掲示など

(参考)

京都府共同募金会城陽地区支会 資金収支計算書(P94)

日本赤十字社京都府支部城陽市地区 資金収支計算書(P95)

令和5年度 城陽市社会福祉協議会 主要行事・事業報告（抜粋）

| 開催日 | 行事・事業名 | 場 所 |
|----------|---|--------------------|
| 4/3(月) | 辞令交付(新規・異動他) | 福祉センター |
| 6/20(火) | 新会長就任、関係各所挨拶、引継ぎ(～6/23) | 関係各所 |
| 6/30(金) | 第33回城陽福祉ふれあいまつり実行委員会①(計3回) | 福祉センター |
| 7/1(土)～ | 老人福祉センター運営委員改選、初回運営委員会(陽寿 7/25、 陽和 8/2、陽東 8/1、陽幸 7/27) | 各苑 |
| 7/14(金) | 市社協職員研修①(第6期計画について、②7/21) | 福祉センター |
| 7/22(土) | 第46回サマースクール開校式(夏8回、冬1回、春1回) | 福祉センター |
| 8/1(火) | 生活福祉資金調査委員会(②3/18) | 福祉センター |
| 8/28(月)～ | 台風7号大雨災害支援職員派遣(のべ2名4日) | 綾部市 |
| 10/1(日) | 赤い羽根共同募金街頭啓発(街頭及び広報車) | 市内各所 |
| 10/20(金) | ボランティア基金運営委員会 | 福祉センター |
| 11/2(木) | 地域福祉リーダー研修会 | 福祉センター |
| 11/8(水) | 第33回福祉ふれあいまつりポスター展示(～11/11) | アルプラザ城陽 |
| 11/15(水) | 陽東苑創立30周年記念事業(苑まつり) | 陽東苑 |
| 12/4(月) | ボランティア講座①(②3/12) | 福祉センター |
| 12/15(金) | 歳末たすけあい募金配分委員会 | 福祉センター |
| 1/1(日)～ | 令和6年能登半島地震災害支援(1/4～義援金募集、2/1～2/7職 員派遣1名《予定含めのべ2名14日間》) | 福祉センター及び 石川県七尾市 |
| 1/17(水) | 共同募金会事務費監査 | 福祉センター |
| 2/10(土) | 第45回城陽市社会福祉大会 | 文化パーク |
| 2/18(日) | ボランティアフェスティバル | 福祉センター |
| 3/2(土) | 市災害ボランティアセンター運用訓練 | 木津川運動公園 |
| 3/11(月) | 老人福祉センター4苑合同運営委員会 | 各苑 |
| 3/23(土) | 校区社協テーマ別研修会 | 福祉センター |
| 3/28(木) | 第6期地域福祉活動計画推進委員会 | 福祉センター |
| 3/30(土) | 城陽サマースクール「ありがとう閉校式」※今年度で終了 | 福祉センター |

令和5年度 各主要・定例会議開催実績

| 月 | 三役会 | 理事会 | 評議員会 | 評選解委 | 監事監査 | 校区会長会議 |
|-----|-------|-------|-------|------|-------|--------|
| 4/ | 7(金) | — | | | | 13(木) |
| 5/ | 19(金) | 30(火) | | | 16(火) | 11(木) |
| 6/ | 9(金) | 20(火) | 20(金) | 2(金) | | 8(木) |
| 7/ | 7(金) | — | | | | 13(木) |
| 8/ | — | — | | | | — |
| 9/ | 8(金) | 19(火) | | | | 14(木) |
| 10/ | 6(金) | — | | | | 12(木) |
| 11/ | 13(金) | — | | | | 14(木) |
| 12/ | 8(金) | 19(火) | | | | 14(木) |
| 1/ | 5(金) | — | | | | 11(木) |
| 2/ | 9(金) | — | | | | 8(木) |
| 3/ | 8(金) | 19(火) | 26(火) | | | 14(木) |
| 開催数 | 11回 | 5回 | 2回 | 1回 | 1回 | 11回 |

令和5年度 城陽市社会福祉協議会
校区別 会員数・会費実績報告書

| | 令和5年度 | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|--------|---------|-----------|
| | 普通会員 (個人) | 賛助会員 (個人) | 特別会員 (個人) | 賛助会員 (団体・法人) | 特別会員 (団体・法人) | 会員合計 | その他 | 会費実績 |
| | 単位：口数 | | | | | | 単位：円 | |
| 久津川 | 1,067 | 14 | 0 | 7 | 1 | 1,089 | 92,101 | 684,601 |
| 古川 | 529 | 18 | 1 | 2 | 1 | 551 | 75,800 | 381,300 |
| 久世 | 1,212 | 59 | 5 | 6 | 2 | 1,284 | 12,500 | 742,500 |
| 深谷 | 814 | 141 | 5 | 2 | 1 | 963 | 1,382 | 584,382 |
| 寺田 | 709 | 24 | 0 | 5 | 3 | 741 | 30,000 | 463,500 |
| 寺田南 | 826 | 7 | 0 | 5 | 5 | 843 | 24,450 | 519,450 |
| 寺田西 | 1,527 | 26 | 11 | 2 | 4 | 1,570 | 13,500 | 886,000 |
| 今池 | 1,163 | 24 | 2 | 5 | 2 | 1,196 | 10,680 | 667,180 |
| 富野 | 1,059 | 29 | 0 | 6 | 3 | 1,097 | 19,140 | 637,640 |
| 青谷 | 812 | 4 | 0 | 4 | 3 | 823 | 34,160 | 494,160 |
| 小計 | 9,718 | 346 | 24 | 44 | 25 | 10,157 | 313,713 | 6,060,713 |
| 事務局扱い | 4 | 13 | 64 | 15 | 10 | 106 | 28,288 | 410,288 |
| 合計 | 9,722 | 359 | 88 | 59 | 35 | 10,263 | 342,001 | 6,471,001 |

| | 令和4年度 | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|--------|---------|-----------|
| | 普通会員 (個人) | 賛助会員 (個人) | 特別会員 (個人) | 賛助会員 (団体・法人) | 特別会員 (団体・法人) | 会員合計 | その他 | 会費実績 |
| | 単位：口数 | | | | | | 単位：円 | |
| 久津川 | 1,278 | 16 | 1 | 6 | 2 | 1,303 | 52,500 | 760,500 |
| 古川 | 604 | 24 | 0 | 2 | 0 | 630 | 75,660 | 411,660 |
| 久世 | 1,331 | 76 | 6 | 6 | 2 | 1,421 | 12,500 | 822,000 |
| 深谷 | 823 | 158 | 5 | 2 | 1 | 989 | 3,300 | 607,800 |
| 寺田 | 746 | 30 | 1 | 3 | 2 | 782 | 24,520 | 465,520 |
| 寺田南 | 869 | 6 | 0 | 7 | 4 | 886 | 23,600 | 539,100 |
| 寺田西 | 1,700 | 27 | 1 | 4 | 4 | 1,736 | 13,100 | 953,100 |
| 今池 | 1,208 | 21 | 3 | 3 | 3 | 1,238 | 21,598 | 700,598 |
| 富野 | 1,173 | 33 | 2 | 7 | 4 | 1,219 | 15,250 | 715,750 |
| 青谷 | 799 | 8 | 0 | 3 | 2 | 812 | 62,120 | 504,620 |
| 小計 | 10,531 | 399 | 19 | 43 | 24 | 11,016 | 304,148 | 6,480,648 |
| 事務局扱い | 5 | 7 | 53 | 17 | 9 | 91 | 7,715 | 351,215 |
| 合計 | 10,536 | 406 | 72 | 60 | 33 | 11,107 | 311,863 | 6,831,863 |

※その他...500円に満たないものは、決算書では一般寄付金として計上しています。

※令和元年度より賛助会員（個人）の会費額を5,000円から3,000円に変更

※令和元年度より企業等団体・法人会費（賛助会員・特別会員）を新設

【施設会費】

上記とは別に施設会費として市内で事業を行う13社会福祉法人から、計147,000円をいただきました。

令和5年度 赤十字活動資金実績報告書

(城陽市地区扱い)

(単位：円)

| 校 区 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-----|-----------|-----------|
| 久津川 | 552,768 | 594,145 |
| 古 川 | 296,150 | 338,400 |
| 久 世 | 490,400 | 545,650 |
| 深 谷 | 458,392 | 504,230 |
| 寺 田 | 301,300 | 320,200 |
| 寺田南 | 389,910 | 400,400 |
| 寺田西 | 0 | 555,710 |
| 今 池 | 484,257 | 505,741 |
| 富 野 | 526,850 | 581,152 |
| 青 谷 | 414,260 | 449,533 |
| 小 計 | 3,914,287 | 4,795,161 |

| | | |
|-------|-----------|-----------|
| 事務局扱い | 124,950 | 704,000 |
| 合 計 | 4,039,237 | 5,499,161 |

※事務局扱は、個人・口座振替・クレジット扱いによる寄付金です。

令和5年度 赤い羽根共同募金実績報告書

(城陽地区支会扱い)

(単位：円)

| 校区 | 戸別募金 | 大口募金 | 街頭募金 | 小計 | 令和4年度 |
|-------|-----------|---------|--------|-----------|-----------|
| 久津川 | 439,910 | 5,000 | 0 | 444,910 | 494,206 |
| 古川 | 294,100 | 5,000 | 0 | 299,100 | 332,910 |
| 久世 | 472,210 | 25,000 | 0 | 497,210 | 513,080 |
| 深谷 | 452,015 | 0 | 0 | 452,015 | 441,600 |
| 寺田 | 278,550 | 10,000 | 0 | 288,550 | 302,451 |
| 寺田南 | 333,895 | 35,000 | 9,098 | 377,993 | 468,917 |
| 寺田西 | 466,903 | 0 | 0 | 466,903 | 568,010 |
| 今池 | 457,078 | 15,000 | 0 | 472,078 | 495,630 |
| 富野 | 496,330 | 70,442 | 0 | 566,772 | 656,232 |
| 青谷 | 403,170 | 35,000 | 0 | 438,170 | 458,305 |
| 小計 | 4,094,161 | 200,442 | 9,098 | 4,303,701 | 4,731,341 |
| 事務局扱い | 195,824 | 140,000 | 14,915 | 350,739 | 384,363 |
| 合計 | 4,289,985 | 340,442 | 24,013 | 4,654,440 | 5,115,704 |

令和5年度 赤い羽根共同募金 合計募金額

4,654,440 円

(京都府共同募金会へ全額送金済)

令和5年度 歳末たすけあい募金・配分実績報告書

(京都府共同募金会城陽地区支会扱い)

1. 収入

(1) 戸別募金

(単位：円)

| 校 区 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-----|-----------|-----------|
| 久津川 | 450,086 | 490,600 |
| 古 川 | 306,724 | 331,901 |
| 久 世 | 468,350 | 516,345 |
| 深 谷 | 423,765 | 428,910 |
| 寺 田 | 264,300 | 303,200 |
| 寺田南 | 337,100 | 395,650 |
| 寺田西 | 450,100 | 474,080 |
| 今 池 | 442,480 | 484,544 |
| 富 野 | 487,488 | 543,360 |
| 青 谷 | 385,570 | 411,673 |
| 小 計 | 4,015,963 | 4,380,263 |

(2) 事務局扱い募金 15,500 円 31,000
 令和5年度 募金合計 4,031,463 円 4,411,263

(3) 繰入金 (府共募預かり金 令和4年度分) 4,751,164 円

収入合計 8,782,627 円

2. 支出 (歳末たすけあい募金配分委員会決定・執行)

(単位：円)

| 区 分 | 金 額 |
|--|--------------------|
| 在宅要介護者の方 (要介護認定3・4・5) を、介護する家族への激励金 (341人) | 1,023,000 |
| 校区社会福祉協議会後期活動助成 (9校区) | 1,433,000 |
| 社会福祉関係団体事業費助成 (14団体) | 586,000 |
| 青少年福祉活動修学旅行援助 (11人) | 110,000 |
| 自治会福祉活動応援助成 (25団体) | 800,000 |
| 地域福祉活動一般公募助成 (5団体) | 207,000 |
| 地域福祉活動備品整備 | 13,561 |
| 各種案内等実施のための広報誌発行 | 150,000 |
| 事業執行諸経費 (通信運搬・手数料等) | 40,579 |
| 募金事務費 | 322,517 |
| 令和6年度事業配分金 | 4,096,970 |
| 合 計 | 8,782,627 |
| 支出合計 | 8,782,627 円 |

令和5年度児童・生徒のボランティア活動普及事業（福祉協力校）活動報告

| 学校名 | 活動内容 |
|--------|--|
| 久津川小学校 | 実施（高齢者との交流活動） 敬老会協力、年賀状送付、昔遊び学習（ 障がい理解学習 ）みんな友達、視覚障がい、認知症等学習や体験（ 地域連携活動 ）地域・校内清掃活動、花いっぱい運動 |
| 古川小学校 | 実施（高齢者との交流活動） 児童・高齢者交流会（芋ほり交流）、年賀状送付、野菜の学習（ 障がい理解学習 ）視覚障がい当事者講演、当事者理解ビデオ作成と指導、（特別支援）学級交流（ 地域連携活動 ）民生児童委員との懇談会、「見守り隊」への感謝式、「古川子どもまつり」交流、校区社協クリーン運動参加、青少年意見発表会参加 |
| 久世小学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク・車椅子・手話体験、高齢者の生活体験的理解（ 高齢者との交流活動 ）年賀状送付、敬老会ビデオ作成と上映（ 障がい理解学習 ）校区内施設バリアフリー調査・発表、福祉体験学習レポート作成、人権・福祉・仲間意識等アンケート調査、夏のつどい（ 地域連携活動 ）クリーン作戦、区民運動会参加、環境美化活動、協力校と動画交流 |
| 深谷小学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク・車椅子・手話・点字体験（ 高齢者との交流活動 ）年賀状送付、「見守り隊」へ感謝カードや記念缶バッジ作成、贈呈（ 障がい理解学習 ）障がい者施設利用者及び指導者等から講話及び交流、福祉活動の在り方等についての調査・発表会（ 地域連携活動 ）クリーン運動、校区社協主催の文化祭に習字、図画作品 |
| 寺田小学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク・車椅子・手話・パラスポーツ体験、特別支援教育啓発だよりの発行（ 高齢者との交流活動 ）年賀状の送付（ 障がい理解学習 ）パラ競技選手等の講演、当事者の講演、福祉施設の見学 |
| 寺田南小学校 | 実施（福祉体験学習） 車椅子・パラスポーツ等 DVD 学習（ 高齢者との交流活動 ）年賀状送付、敬老会参加（ 障がい理解学習 ）「なかま」（特別支援教育啓発だよりの発行、視覚障がいがある歌手の方の講話（ 地域連携活動 ）お話しサークル、図書ボランティアとの交流、「見守り隊」への感謝の集い |
| 寺田西小学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク体験（ 高齢者との交流活動 ）年賀状の送付、昔遊びの教授、感謝の集いの実施、草引き活動、花の苗植え活動（ 障がい理解学習 ）理解教育についての広報及び啓発活動、居住地交流の実施、他校、特別支援学級児童の作品展示 |
| 今池小学校 | 実施（福祉体験学習） 視覚障がい者の講話、障がい理解学習、点字体験、学校だより等で福祉教育の取り組みの様子を掲示（ 高齢者との交流活動 ）年賀状の送付、「昔のくらし」体験学習 |
| 富野小学校 | 実施（高齢者との交流活動） 児童生カレンダー贈呈、昔遊び教授（しめ縄体験、ゲートボール体験）、「見守り隊」への感謝のつどい、年賀状送付（ 障がい理解学習 ）福祉施設職員出前授業や体験学習、福祉教育の趣旨紹介、特別支援学校に通学する生徒の作品を展示、鑑賞（ 地域連携活動 ）地域清掃活動、左義長に書道作品の提供 |
| 青谷小学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク・点字・車椅子・パラスポーツ体験、福祉実態調査（ 高齢者との交流活動 ）昔遊び教授（ 障がい理解学習 ）施設職員講演、視覚障がい者の講話、福祉新聞等広報、居住地交流の実施（ 地域連携活動 ）「安全ボランティア」へ感謝メッセージ寄贈、古紙回収事業参加、クリーン運動実施、施設の方と作品交流、福祉作文コンクール応募、校区に通園する園児と交流 |
| 北城陽中学校 | 実施（福祉体験学習） アイマスク・車椅子・パラスポーツ・朗読ボランティア体験、福祉事業所職員の講話（ 地域連携活動 ）クリーン運動とそれに伴うポスター掲示、花植えに参加、エコ活動（ペットボトル収集）、復興支援（ひまわりプロジェクト）参加 |
| 東城陽中学校 | 実施（福祉体験学習） 手話・パラスポーツ体験、福祉講話（ 障がい理解学習 ）視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由の体験、障がい理解学習、礼状・感想の作成と感想文の交流会実施（ 地域連携活動 ）花の植栽ボランティア活動、あそびの博物館、募金活動、敬老会、左義長、文化祭への参加 |
| 城陽中学校 | 実施（福祉体験学習） 講演会開催（視覚障がい・LGBTQ・いのち（助産師）の出前講座）、パラスポーツ体験、福祉新聞等での広報（ 地域連携活動 ）敬老会、あそびの博物館、花植えに参加、あいさつ運動の実施、職場体験活動の計画 |
| 西城陽中学校 | 実施（福祉体験学習） 要約筆記・手話・パラスポーツ体験、LGBTQ 講演会（ 高齢者との交流活動 ）デイサービス訪問交流、敬老会参加（ 障がい理解学習 ）パラ競技選手講演、広報紙やHPで取組紹介（ 地域連携活動 ）ふれあい遊び参加、あそびの博物館、花植、清掃、美化作業へ、スポーツ祭り手伝い |
| 南城陽中学校 | 実施（福祉体験学習） 車椅子・手話・点字・要約筆記体験、職場体験学習（ 地域連携活動 ）花の植え替えに参加、クリーン運動、幼稚園の夏祭り、あそびの博物館、「町の文化展」参加 |

*各小・中学校からの報告書より抜粋

*本事業は、赤い羽根共同募金の配分金及びボランティア基金の利息から助成しています。

令和5年度ボランティア登録状況

() 内は、男性の人数

| No. | 名称 | 人数 | 活動内容 | Vルーム利用状況 | |
|--------|-------------------|-------------|---|----------|-------|
| | | | | 回数 | 人数 |
| 1 | 城陽ボランティア連絡協議会 | — | 下記 2~8 の団体に構成され、団体同士の協働や情報共有を促進する。 | 32 | 102 |
| 2 | 城陽手話サークル めだか | 17 (3) | 聴覚障がい者と共に活動をし、手話を学び、手話を通して聴覚障がい者の生活を知り、共に抱える問題を解決できるようにする。 | 16 | 22 |
| 3 | 城陽点字サークル たんぼぼ | 11 (2) | 視覚障がい者への点字活動や中途失明者への点字指導。各種機関誌の点訳活動、自販機の点字シールの作成、小中学校福祉体験学習指導を行う。 | 59 | 465 |
| 4 | 朗読ボランティア 陽声 | 38 (5) | できるだけ多くの文字、情報を音訳・録音を行い、視覚障がい者に提供することにより、生活支援を行う。 | 202 | 1,177 |
| 5 | 城陽手話サークル てまり | 47 (4) | 聴覚障がい者の方々と手話を学習し交流を深め、障がい者の抱える問題を学び、手話の普及に努めている。ろうあ協会等との交流、福祉体験学習等へ協力。 | 50 | 96 |
| 6 | 城陽要約筆記サークル ダンボ | 17 (1) | 要約筆記の技術を体得向上する。難聴者が主催又は参加をする事業等での情報保障をしながら交流や親睦を図る。府、市難協、聴覚障がい者の豊かなくらしを築くネットワーク等との連携活動。 | 61 | 148 |
| 7 | 介護支援サークル やわらぎ | 12 (0) | 傾聴ボランティアとして、市内のデイサービスセンター利用者の方のお話し相手活動。やわらぎサロンを開催し、要介護者とその家族との交流を行っている。 | 18 | 142 |
| 8 | 傾聴ボランティア コスモス | 17 (2) | 一人暮らし高齢者、高齢者世帯に対して、日ごろ人と話す機会が少なくなっている方を対象に傾聴活動を実施。市内の福祉施設や独居高齢者宅に訪問し活動を行う。 | 11 | 28 |
| 9 | メンズボランティア 手助け隊 | 11 (11) | 市内の高齢者・障がい者世帯を対象に、公的な支援制度などに該当せず、専門の業者に依頼するほどでもないちょっとした補修や作業を主な活動とする。 | — | — |
| 10 | 城陽おはなしサークル | 20 (0) | 図書館や小学校などで絵本や昔話等を読み聞かせやストーリーテリング(語り)で紹介し、言葉や物語の楽しさを伝える。 | — | — |
| グループ合計 | | 190 (28) | | 449 | 2,180 |

※人数は、市社協へのボランティア団体登録の人数です。(重複加入者を含む)

| | | |
|------------------------|--------------|--|
| 個人登録者 (上記団体以外の登録者数) | 752 (200) | 校区社協事業の協力(高齢者料理教室、配食等)、福祉施設での活動(介助手伝い、趣味の指導等)、各種福祉事業への協力など |
|------------------------|--------------|--|

合計 942人(228人)

令和5年度 福祉バス(ふれあい号)使用状況

○利用団体別

| | 福祉団体 民児協 | | 高齢者クラブ | | 市福祉課 他課 | | 市社協 校区社協 | | ボランティア 団体 | | 合計 | |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|
| | 件数 (件) | 人数 (人) | 件数 (件) | 人数 (人) | 件数 (件) | 人数 (人) | 件数 (件) | 人数 (人) | 件数 (件) | 人数 (人) | 件数 (件) | 人数 (人) |
| 4月 | 3 | 25 | 0 | 0 | 7 | 40 | 2 | 33 | 0 | 0 | 12 | 98 |
| 5月 | 4 | 33 | 0 | 0 | 4 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 57 |
| 6月 | 2 | 22 | 1 | 19 | 6 | 38 | 1 | 22 | 0 | 0 | 10 | 101 |
| 7月 | 4 | 41 | 0 | 0 | 8 | 56 | 5 | 81 | 0 | 0 | 17 | 178 |
| 8月 | 5 | 69 | 0 | 0 | 5 | 25 | 0 | 0 | 2 | 21 | 12 | 115 |
| 9月 | 5 | 46 | 1 | 13 | 6 | 29 | 2 | 17 | 0 | 0 | 14 | 105 |
| 10月 | 8 | 87 | 2 | 31 | 5 | 28 | 1 | 3 | 0 | 0 | 16 | 149 |
| 11月 | 7 | 75 | 1 | 20 | 4 | 23 | 3 | 41 | 0 | 0 | 15 | 159 |
| 12月 | 3 | 22 | 0 | 0 | 3 | 23 | 1 | 18 | 0 | 0 | 7 | 63 |
| 1月 | 4 | 41 | 0 | 0 | 5 | 29 | 1 | 12 | 2 | 24 | 12 | 106 |
| 2月 | 1 | 16 | 0 | 0 | 6 | 29 | 2 | 23 | 0 | 0 | 9 | 68 |
| 3月 | 2 | 14 | 0 | 0 | 5 | 33 | 6 | 105 | 1 | 11 | 14 | 163 |
| 合計 | 48 | 491 | 5 | 83 | 64 | 377 | 24 | 355 | 5 | 56 | 146 | 1,362 |

| | | |
|-------|-----|-------|
| 昨年度合計 | 件数 | 人数 |
| | 136 | 1,258 |

令和5年度 地域福祉活動用備品 貸出状況

| 品名 | 件数 | のべ数 |
|------------|----|-----|
| 車椅子 | 94 | 165 |
| 大鍋セット | 0 | 0 |
| 大型炊飯器 | 0 | 0 |
| テント | 1 | 7 |
| 磁気誘導ループ | 7 | 7 |
| 高齢者疑似体験セット | 3 | 10 |
| データプロジェクター | 11 | 11 |
| 紅白幕 | 10 | 63 |
| ワイヤレスアンプ | 10 | 10 |
| スクリーン | 5 | 5 |
| レクリエーション備品 | 12 | 25 |

令和5年度城陽市立老人福祉センター事業報告(総括)

小学校区別利用状況

(単位:人)

| 校区名 | 陽寿苑 | 陽和苑 | 陽東苑 | 陽幸苑 | 4苑計 | 構成比 | 令和4年度 | 前年度比 |
|-----|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 久津川 | 734 | 7,813 | 252 | 418 | 9,217 | 11.2% | 7,469 | 123.4% |
| 古川 | 1,596 | 8,719 | 12 | 744 | 11,071 | 13.4% | 9,324 | 118.7% |
| 久世 | 1,710 | 2,648 | 5,030 | 345 | 9,733 | 11.8% | 8,249 | 118.0% |
| 深谷 | 4,851 | 865 | 2,487 | 209 | 8,412 | 10.2% | 7,946 | 105.9% |
| 寺田 | 2,662 | 1,075 | 686 | 1,426 | 5,849 | 7.1% | 5,314 | 110.1% |
| 寺田南 | 2,441 | 529 | 116 | 928 | 4,014 | 4.9% | 4,047 | 99.2% |
| 寺田西 | 5,256 | 887 | 520 | 4,915 | 11,578 | 14.0% | 10,975 | 105.5% |
| 今池 | 6,161 | 92 | 5 | 726 | 6,984 | 8.5% | 6,395 | 109.2% |
| 富野 | 11,688 | 204 | 13 | 379 | 12,284 | 14.9% | 10,699 | 114.8% |
| 青谷 | 3,494 | 7 | 0 | 2 | 3,503 | 4.2% | 2,904 | 120.6% |
| 合計 | 40,593 | 22,839 | 9,121 | 10,092 | 82,645 | | 73,322 | 112.7% |

年齢別利用状況

(単位:人)

| 年齢 | 陽寿苑 | 陽和苑 | 陽東苑 | 陽幸苑 | 4苑計 | 構成比 | 令和4年度 | 前年度比 |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 60～64歳 | 147 | 83 | 68 | 35 | 333 | 0.4% | 466 | 71.5% |
| 65～69歳 | 1,200 | 596 | 758 | 314 | 2,868 | 3.5% | 2,632 | 109.0% |
| 70～74歳 | 9,605 | 4,222 | 1,073 | 1,103 | 16,003 | 19.4% | 15,696 | 102.0% |
| 75～79歳 | 12,585 | 8,048 | 2,071 | 2,738 | 25,442 | 30.8% | 24,764 | 102.7% |
| 80～84歳 | 12,428 | 7,143 | 2,460 | 3,604 | 25,635 | 31.0% | 20,169 | 127.1% |
| 85歳以上 | 4,628 | 2,747 | 2,691 | 2,298 | 12,364 | 15.0% | 9,595 | 128.9% |
| 合計 | 40,593 | 22,839 | 9,121 | 10,092 | 82,645 | | 73,322 | 112.7% |

男女別利用状況

(単位:人)

| 性別 | 陽寿苑 | 陽和苑 | 陽東苑 | 陽幸苑 | 4苑計 | 構成比 | 令和4年度 | 前年度比 |
|----|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 男 | 22,729 | 9,897 | 2,843 | 4,095 | 39,564 | 47.9% | 35,300 | 112.1% |
| 女 | 17,864 | 12,942 | 6,278 | 5,997 | 43,081 | 52.1% | 38,022 | 113.3% |
| 合計 | 40,593 | 22,839 | 9,121 | 10,092 | 82,645 | | 73,322 | 112.7% |

○各老人福祉センターで、以下のサービスを実施しました。

| 事業内容 | | 陽寿苑 | 陽和苑 | 陽東苑 | 陽幸苑 | 4苑計 |
|--------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 健康相談 | 回数(回) | 132 | 68 | 118 | 97 | 415 |
| | 人数(人) | 1,483 | 504 | 837 | 567 | 3,391 |
| 入浴サービス | 回数(回) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 人数(人) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 給食サービス | 回数(回) | 194 | 0 | 0 | 0 | 194 |
| | 人数(人) | 1,230 | 0 | 0 | 0 | 1,230 |
| 送迎バス利用 | 人数(人) | 4,694 | 265 | 1,051 | 278 | 6,288 |

※入浴サービスについては、全苑で休止しています。